



7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8.働きがいも 経済成長も
12.つくる責任 つかう責任 13.気候変動に具体的な対策を 15.陸の豊かさを守ろう



木炭屑から形成炭(ブリケット)を作る「Verde Africa, LDA」のスタッフ。

森林とマイクロ起業家を支える

私たちが事業を展開するモザンビークの首都マプトでは、今でも木炭がおもな生活燃料です。日本で木炭を作る場合はおもに間伐材が使われますが、ここモザンビークでは原生林が切られ、1年間の森林伐採範囲は、21万9000ヘクタール(東京都とほぼ同じ面積)にも及びます。マプトでは街中のいたるところで木炭が売られています。私たちは通常廃棄されてしまう木炭屑を買い取り、自社工場で再形成して販売しています。廃棄物を再利用することで限りある資源を最大限に活用しつつ、安価な代替燃料を生産できるのです。

おもな販売先は食堂ですが、今、最も売り上げを伸ばしている販売先が養鶏農家です。ヒヨコを元気に育てるにはつねに温めてやる必要があります。木炭より火持ちがよく、また価格も木炭の4割安という当社製品のメリットと養鶏場のニーズが合致するのです。モザンビーク人にとって養鶏は手軽に始めやすいビジネスで、徐々に規模を大きくしていく夢を描いてガレッジを改造した鶏小屋でヒヨコを育てている人もいます。その起業家精神はまるでビル・ゲイツのようですね。私も彼らもまだ規模は小さいけれど、お互いれっきとした起業家同士。私たちの製品がモザンビークの起業家を支え、環境問題の解決に貢献できればうれしく思えます。

今月の投稿(文・写真) 有坂之良さん
「Verde Africa, LDA」代表。愛知県名古屋生まれ。青年海外協力隊平成21年度4次隊としてザンビアへ派遣される。著書「アフリカで炭を売る…BOPビジネス最前線」(Amazon Kindle版)。

あなたの投稿をお待ちしています！

「わたしが見つけたSDGs」に写真と原稿をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題に取り組む人々の姿など、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。
応募要項: 写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。
*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先 ▶ ML_JICAPR@jica.go.jp (「mundi」編集部宛て)



SDGsとは

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)とJICAの取り組み
URL: <https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/>